

JAAC だより

特別コラム掲載

～ 留学斡旋・仲介会社“ゲートウェイ21社”の倒産に思うこと ～

JAAC カリフォルニア事務局
ディレクター： 照井 紀久夫

10月に入って、留学業界に激震が走った。留学業界では大手の仲間入りをしていた“ゲートウェイ21社”が約13億円の負債を抱えて倒産しました。いつものように、その会社が倒産したことによってとぼっちりとも言うべき、大きな被害に遭うのは、倒産した会社に関わっていた何の罪も無い人々なのだ。今回のケースでは、同社の留学斡旋と仲介サービスによって、留学を控えている人たちと、既に、留学地に行っている人たちが犠牲になってしまったのです。

報道によると、年間7,000～8,000人を取り扱っていた同社には、これから留学を予定している学生及び一般の方々約1,500人いると言われていています。自分の長年の夢であった留学を現実のものとするために勤めていた会社を辞めて、200万円～300万円以上の高額な留学費用を払い込んでしまった人たちもいます。また、既に留学中の方々の中で、今後の滞在が保証されず、やむなく帰国せざるを得ない方々が約1,000人もいるそうです。中には、3ヶ月の留学予定であったにもかかわらず、現地到着後わずか2週間で帰国をさせられた人もいるとのこと。『いったい、何故っ・・・！？』と、語気を荒げざるを得ません。私は、同社のように単なる留学斡旋・仲介サービス会社に従事している者ではありませんが、同じ「留学」ということばの延長線上にある「国際教育」の現場に25年以上いる者として、今回の出来事に際して、金銭的な犠牲者となられた方々に対して心から同情の念を表したいと思うと同時に、遺憾に思っています。さらに報道で伝えられているように、同社は前もって参加者から支払われた留学先での学費や生活費に相当する約10億円近くを現地当該校に送金支払いする代わりに、何らかの意味不明な使途に使ったとも言われています。もし、このことが事実だとすれば、留学の仲介業務サービスと種々の手続き代行を提供する会社としての義務を怠ったこととなります。これは、立派な犯罪行為ではないでしょうか。

JAAC カリフォルニア事務局が設置されているUCI Extension (カリフォルニア大学アーバイン校) エクステンションにも、多くの日本人留学生在が学んでいます。英語研修やビジネス資格取得コースに在籍している日本人留学生在が、今回の一件に巻き込まれていないことを心から望んでいます。たとえ、同社以外の仲介と手配でUCIに來た学生であるとしても、その会社がきちんとUCIに授業料と、その他、必要な費用を支払っていることを心から祈っています。UCIからは一人として、途中帰国をさせられるような犠牲者が出てほしくはありません。

普段、カリフォルニアでJAAC生のサポート業務を行っている私達にとっては、一般的な留学生的の多くが留学斡旋・仲介サービス会社にいくらの手続き代行料を支払われているのかは分かりません。ましてや、その費用に加えて、留学先の学校へ支払う授業料までも事前に支払うというシステムには、容易に同意しかねます。もちろん、私達とは扱っているプログラムの内容や、提供するサービス内容の違いから一概には申し上げられませんが、授業料やホームステイ代、アパート代と言った滞在費用等も、こちらの留学先に來てから支払っても通常は何の問題もありません。特に、授業料やテキスト代と言ったものは、こちらに來て受講するクラスが決まらなると、明確な費用が分からないものがあるからです。私自身は、授業料や滞在費、教材費といった留学費用の大部分を占める費用については、留学生在が直接、当該校に支払うのが当然のような気がします。

近年、「留学」というものが誰の手にも届く、ごく身近なものとしての認識が一般的になってきたと思います。それはそれで、ある面においては理想的な社会状況ではありますが、そのことによって、「留学」が単なる商品という位置づけから、その商品価値を高めるために、本来、参加者が自分で行うべき手続きを何から何まで留学斡旋・仲介サービス会社が行っているとしたら、それは、単に申し込み上のサービスの向上にしかかかっていないのではないのでしょうか。私は、そのことが「留学」の価値を高めるものではないと思っています。これを契機に、何が「留学」本来の価値を高めることなのかを、留学業界に携わる全ての人々にもう一度考え直していただきたいと思います。

【お知らせ】 連載している「留學生に求められる人間力とは ～大学生活(留學生生活)は“人間力”を養う場でもあります～」は、今号の特別コラム掲載に伴い、次号に掲載させていただきますので、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。(照井)

コラム：後輩に伝えたいにんなこと、あんなこと（第8回）

（JAAC 第6期生 マリオ・マツカタ）

先月中旬のことです。買い物に行ったら、なんと！クリスマスツリーがすでに売られていました。なんと気が早いことでしょう！ 南カリフォルニアは30度近い乾燥した日がまだあります。とても、ホワイトクリスマスという気分にはまだちょっとなれないですね。（笑）

毎年10月31日はハローウィン(Halloween)です。量販店、スーパーマーケット等、お化けやかぼちゃのデコレーションが徐々に目に付くようになりました。ハローウィンの由来は、「ケルト人（現フランス地域の人々）の1年の終りは10月31日で、この夜は死者の霊が家族を訪ねたり、精霊や魔女が出てくると信じられていた」、ということだそうです。これって、何かと似ていませんか？ そうです！ 日本のお盆です。さらに、かぼちゃを人の顔型にくりぬいた「ジャック・オ・ランタン」の中にもろうそくを灯すところなども、日本の祖先の送り火にそっくりです。

アメリカ人はこの「お盆」をお化けの仮装をして祝います。ハローウィンの当日は学校や職場で仮装コンテストが行われるほどです。私も長年アメリカにいますが、この日ばかりは毎年びっくりさせられます。銀行に行けば恐ろしいホラーメイクを顔に施した銀行員が窓口に乗っていますし、車の信号待ちでも横の車に目をやるとドラキュラに扮した人がハンドルを握っていたりして、びっくり半分、面白半分です。特に、コンビニエンスストアの入り口に「ハローウィンのメイクをしている人は入店お断り」という張り紙がはってあったのを見たときには、「なるほど！！」と感心してしまいました。確かに仮装祭りの日でも、覆面等をしたままお店に入出入りされては、強盗と区別がつかないですからね。ましてや、お店のカウンターで「トリック・オア・トリート！（お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ!）」と叫んでも、お店にあるお菓子をタダでもらえるわけでもありません。

皆さんの学校のキャンパスでも、この日は仮装をして出歩く人が多いと思います。或は、ハローウィンパーティーに参加する人もいることでしょう。昔ながらの魔女やゾンビの仮装もポピュラーですが、最近はお看護婦やチアガール、お姫様、スパイダーマン、警察官など、愛らしいものやヒーローが仮装のモチーフに好まれるようです。どちらかというとならば最近では仮装というよりもコスプレに近いのかもしれませんが。

コスプレ決戦は今月末31日です。どんな格好をするかアイデアを考えて、道行く人を「あっ！」と言わせましょう！ ハローウィンも留学生生活を充実させるには欠かせないアメリカ行事です。皆さん、がんばって最優秀仮装賞を狙いましょう！

カリフォルニア通信

（カリフォルニア担当：照井）

【サンタアナの風】 今年もロサンゼルス北西部の内陸側から吹きつける乾燥した強風として知られる「サンタアナの風：Santa Ana Wind」がロサンゼルス近郊の山火事を引き起こしています。13日にはシュワルツネッカー州知事によって非常事態宣言が出されました。昨年も、この山火事によってカリフォルニア州南部のサンディエゴ地域に大きな被害をもたらしました。現在のところ、ロサンゼルス北部近郊において、山火事の煙による交通事故が何件か発生して、犠牲者も出ております。JAAC生の皆さんには、細心の注意を払っていただきたいと思っております。

【金融業界の再編成】 全世界的な規模で勃発した金融恐慌は、株価の暴落とも言うべき大幅な値下がり招き、多くの世界的大企業として知られた証券会社や金融会社の倒産と統合を生み出しました。アメリカ政府は250兆円規模の公的資金注入策で何とかこの危機を乗り切ろうとしています。JAAC生が預金口座を持つ幾つかの銀行にも経営上、大きな影響が出ています。幸いにも現在までのところ、JAAC生の預けた預金に影響は出ておりません。日に日に新たに報道される金融業界の状況について、しばらくは目を離せません。

【JAAC カリフォルニア事務局よりご報告】 10月1日付けで、このほど同事務局の新井康平さんが Assistant Director (アシスタント・ディレクター) に就任しました。今までの学生カウンセラーとアドバイザーと言う職務に加えて、同事務局の運営・管理部門での補佐役を務めることとなりましたので、今後共、よろしくお願いいたします。

ミズーリ通信

（ミズーリ担当：ライマン・ピットマン）

【留学生に改めて教えられる自国の文化】 つい最近、JAACミズーリ事務局に日本からお客様が訪れました。この方々のご案内役として高学年のJAAC生2人に手伝ってもらいました。そのうちの一人の学生が、日本からのゲストに是非アメリカのバースデー・ケーキを見せたいと言ってきました。最初、私は妙な話だな思いましたが、実際にゲストをケーキ店にお連れすると、店に並べられているそのケーキが日本人にとっては「驚き」そのものであることを知らされました。それは独特の甘さや、柔らか過ぎる生地の色ではなく、ドギツイまでの色のせいなのです。確かに、アメリカのケーキは赤やオレンジ、明るい黄色などの原色を使った着色で飾られています。中でも最悪な色は青色でしょう。興味深かったのは、ゲストの方々が驚かされていた色は「緑色」の着色でした。

バースデー・ケーキの一件はほんの一例です。アメリカの文化に対する物の見方と目線は、留学生と自国のアメリカに住んでいる者とは異なるんですね。私達は自国の文化を良く考え、理解することが必要ですね。何の特別な意識を持って考えてもみない自国の文化は、外国の方にしてみれば幾千もの新たに体験する未知との遭遇であり、未知なる文化の一つなのです。自国の文化を理解していない者にとっては、それらの自国文化を深く理解していて当然、ということを感じさせてくれる絶好の機会でもありますね。

些細なことですが、最近になって私が辿り着いた結論は、緑色と青色の着色クリームを施したケーキは在り得ない・・・というものでした。

一期一会 先だって、東京の某社で行われた会議は深夜過ぎまで続いた。既に終電はなく、やむなくタクシーで帰宅した。自宅マンションに着いた時、『私、本日が最後の勤務で、今日でタクシー運転手生活 38 年を終えるところです。』と、私につき銭を手渡ししながら、後部座席の私に体を向けたままの姿勢で、丁寧に頭を下げられた。タクシー会社で運転手を 18 年勤めた後、個人タクシーに転向して 20 年目だという。昨年、奥さんを亡くされたのを機に、今年の誕生日を以って廃業する決

意をしたそう。彼の話の聞いているうちに、気がつけばドアを開けたまま 20 分近くが経っていた。彼が『おっ、もうこんな時間ですね』と言ったのを合図に、私は車から降りた。すると、彼も車から降りてきて、『ご乗車、有り難うございました。お客さんが最後のお客様です』と、私に深々と頭を下げられた。『長い間、ご苦労様でした』と私も返礼した。時刻は午前 3 時 50 分。今この瞬間に、一人の人間が人生をかけて勤めてきた仕事に終わりが告げられた。こんな経験は初めてだ。(照井)

Siesta ちょっと、一休みしませんか・・・?

～ 「寿司」と「SUSHI」 ～

「寿司」は日本食の代名詞の一つと言えます。「江戸前寿司」と言えば、江戸の前に広がる東京湾で取れた魚をネタとして握られる寿司のこと。それが、一般的に「江戸前」と言われるようになりました。やがて、寿司文化が世界に広まると共に、「寿司」を受け入れた国々ではその国独自の食文化と融合させて「SUSHI」文化を創り上げました。アメリカで生れた“カリフォルニア・ロール”や“スパイシー・ツナ”などはその代表的なものと言えるでしょう。今では、アメリカ生まれの「SUSHI」が日本に逆上陸し始めて、アメリカの「SUSHI」店が日本に支店を出すまでになりました。伝統的な技法で仕込みと調理が行われるネタと、寿司職人の握りの技(わざ)によって創られる寿司。一口で口に入れられる大きさの一貫が、一皿の料理として完成されるものです。こんなにも素晴らしく、卓越した食文化を日本は持っているんだなあ、今さらながら驚きながら、何とも言えぬ優越感にも似た気持ちを持ちますね。グローバル化と呼ばれる今日の世界では、食文化においても“ボーダレス”になってきているんですね。ああ、お腹が空いた・・・。

Help Line

FAQ

「私の銀行が倒産した・・・聞いたのですが大丈夫ですか？」

A: カリフォルニアに留学された JAAC 生の多くは通称、WAMU と呼ばれる Washington Mutual Bank (ワシントン・ミューチュアル銀行) に口座をお持ちだと思います。WAMU は J.P. Morgan Chase 銀行の傘下に統合され、今後の業務も保証されています。よって、皆さんの預金も保証されていますので安心してください。先日、私も日本から業務上の送金をした際に、銀行窓口の方が「現地の銀行が統合されたことによって、多少時間がかかるかもしれません・・・」と仰っていましたが、通常通り 2～3 日で無事に送金が完了していました。また、WAMU の UCI キャンパス支店窓口の方に直接尋ねたところ、日本からの送金も含めて、業務に支障はきたしていない、との確認が取れていますので安心してください。時々、銀行に行って“案内板”などを各自で確認しておきましょう。

【編集後記】 ●留学生の夢を奪っただけでなく、大切な将来までも奪ってしまった今回の“ゲートウェイ 21 社”倒産劇。まずは、被害に遭われた方々への救済処置を急いでほしい▼ハローウィンが日本のお盆に似た行事である・・・というのは正にその通りだ。アメリカのバースデー・ケーキの彩りもそうだが、これらを身をもって経験することは、アメリカ文化を理解する上でとても大切だと思う。留学の目的は学校に通うだけではない、ということをお願いしている気がします◆
★また、ロサンゼルスで起きた山火事。ほぼ毎年のことだとは言っても、対岸の火事と言いつつことはできません。特に、カリフォルニア州南部に留学している JAAC 生においては、くれぐれも「安全」という意味の重さを理解していただきたいと思います▲ 予想していたことだとは言え、これだけ多くのメジャーと言われているアメリカの証券会社や金融機関が倒産したり、統合されたりすることをだれが予測していたらう。政府による緊急支援策として公的資金の注入が功を奏してくれることを願っている。ありもしないバーチャル(架空)なお金を追いかけるのは、もう沢山だ。(照井)

Let me remind you . . .

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

■ジョブフェアのご案内：ボストン (10/31, 11/1, 11/2) でジョブフェアが開催されます。詳しくは、<http://www.careerforum.net/>を参照してください。

◆年末帰省の航空券の予約はお早めに： 年末年始を日本で過ごされる方は、早めに帰国の計画を立てましょう。

▲ロサンゼルス近郊の山火事に注意！： 今年もまた「Santa Ana Wind」の影響でロサンゼルス近郊から南部にかけての大規模な山火事が発生しました。この地域に住んでいる留学生の皆さんは、TV 報道などから最新の情報を入手しながら安全に努めてください。フリーウェイ走行中に火事の煙を確認した場合は、一旦、速やかに最寄りの出口から出て安全を確認するようにしましょう。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

◎JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ◎カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp